

事後評価結果（平成18年度）

担当課：愛知県都市整備課

担当課長名：稲垣茂男

事業名	とよたしていしやじょうせん 豊田市停車場線		事業区分	街路	事業主体	愛知県			
起終点	あいちけんとよたしきたまち 白：愛知県豊田市喜多町三丁目 あいちけんとよたしきたまち 至：愛知県豊田市喜多町四丁目				延長	153m			
事業概要									
豊田市停車場線は、名古屋鉄道三河線豊田市駅の東側駅前広場から、一般国道153号、矢作川を横断し、豊田市東部の住宅地域を結ぶ都市計画道路である。本事業区間は豊田市の都市計画道路網の一部を構成し、豊田市駅と一般国道153号とを結ぶ延長153mの2車線の道路である。									
事業の目的・必要性									
当事業は、歩道が整備されていない駅前通りの歩行者及び自転車に対する安全性の確保、豊田大橋（平成11年供用）の整備により予想される交通需要の増大に対応する都市機能の向上に大きく寄与するものである。									
事業概要図									
事業の 効果等	事業期間	事業化年度	H07年度	用地着手	H07年度	供用年	(当初) - /H11 (暫定/完成) (実績) - /H13	変動	1.4倍
		都市計画決定	S36年度	工事着手	H11年度				
	事業費	計画時 (暫定/完成)	(名目値) - /22億円 (実績値) - / -	実績	(暫定/完成)	(名目値) - /19億円 (実績値) - /19億円		変動	0.86倍
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成)		実績	(暫定/完成)		8,579台/日	変動	
	旅行速度向上 (供用前現道 当該路線)		9.5	12.5 km/h	交通事故減少 (供用前現道 当該路線)			件/億台和 年度 (供用直前年次) 年度 (供用後年次) 年度	
費用対効果 分析結果 (当初)	B / C	総費用		総便益		基準年	年		
		〔事業費： 億円 維持管理費： 億円〕		〔走行時間短縮便益： 億円 走行費用減少便益： 億円 交通事故減少便益： 億円〕					
費用対効果 分析結果 (事後)	B / C	総費用	1.8億円	総便益	1.9億円	基準年	平成18年		
	1.1	〔事業費：1.8億円 維持管理費：0.10億円〕		〔走行時間短縮便益：1.8億円 走行費用減少便益：0.50億円 交通事故減少便益：0.00億円〕					
事業遅延によるコスト増		費用増加額	- 億円	費用減少額	- 億円				

	<p>事業遅延の理由 用地の取得に時間を要した。</p> <p>客観的評価指標に対応する事後評価項目 公共交通結節点である名鉄豊田市駅と豊田市の主要な公共施設を結ぶ歩行者ネットワークが形成。 バスのすれ違い等の運転環境の向上。 快適な歩行空間の形成による身体障害者の利用の向上。 中心市街地の品格形成に寄与。電線共同溝整備により景観向上へ寄与。 旅行速度 9.5km/h (H9) 12.5km/h(H17)</p> <p>その他評価すべきと判断した項目 事業区間は「おいでん祭り」等のイベント会場としても利用されています。</p>
事業による環境変化	<p>環境影響評価に対応する項目 環境影響評価の対象外事業である。</p> <p>その他評価すべきと判断した項目 特になし</p>
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化 本区間の東側では平成11年度に矢作川を渡る豊田大橋が供用した。 平成13年に完成した豊田スタジアムには、当事業の完成により豊田市駅からの動線が確保され、事業区間を大勢の観客が利用するようになりました。 豊田市駅駅前の豊田市駅前通り南地区市街地再開発事業（コモ・スクエア：職・住・宿・遊を兼ね備えた多機能複合施設）は平成18年11月より順次、オープンしています。 事業区間周辺では、豊田大橋東側で（仮）寺部土地区画整理事業、西側で豊田市総合体育館の建設（平成19年4月1日 オープン予定）が計画されています。</p>
	<p>今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性 事業の当初の目的である「歩行者及び自転車に対する安全性の確保」及び「豊田大橋の整備により予想される交通需要の増大への対応」に関する効果が発現している。また、周辺の開発計画の支援及び各種イベントの会場としても十分に良好な結果が得られている。よって今後の事後評価及び改善措置の必要性はないものと判断される。</p>
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 特になし。</p>
	<p>特記事項 特になし。</p>

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。